

芸能で「つながる」佐渡市と相模女子大学

団体名：相模女子大学 令和5年度伝統芸能体験

学芸学部 日本語日本文学科 1年 永井 芽彩

学芸学部 子ども教育学科 1年 城間 菜々子

人間社会学部 人間心理学科 3年 石野 結

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 夢をかなえるセンター 連携教育推進課 三木 若葉

1. 佐渡市と相模女子大学・相模女子大学短期大学部の連携について

相模女子大学・相模女子大学短期大学部は佐渡市内にて2つの活動、伝統芸能体験（高千地区）・能合宿（羽茂、小泊地区）をコロナ禍の期間を除き毎年行っている。もともとは2009年に正課授業（ゼミ）の一環として伝統芸能体験活動を実施したことから佐渡市と本学の連携が始まり、その後、2011年に佐渡市と本学間で包括連携協定を締結した。2013年度には能合宿が始まったほか、伝統芸能体験活動の実施形態を正課授業（ゼミ）から全学部・全学年を対象とした課外活動に変更し、以来、より多くの学生に参加を募り取り組んでいる。

2. 2023年度に佐渡市内で実施した取組み

①伝統芸能体験

伝統芸能体験は8月10日（木）から8月14日（月）の日程で行われ、1年生2名、2年生2名、3年生7名の計11名が参加した。学生たちは、高千地区の5つの集落（南片辺、石花、北立島、北田野浦、大倉）に分かれ、それぞれの集落で継承される芸能を教わり、8月13日（日）に開催された「夏の彩典 たかち芸能祭」で約800名の観客を前に教わった芸能を披露した。

【お稽古の様子】



【本番の様子】



②能合宿

能合宿は9月4日（月）から9月8日（金）の日程で行われ、1年生1名、2年生2名、3年生2名の計5名が参加した。小泊白山神社の能舞台をお借りし、羽茂昭諷会の方々より仕舞と謡のお稽古をしていただき、9月7日（木）に草苅神社で開催された夜能の前座で約40名の観客を前に仕舞を披露した。

【お稽古の様子】



【本番の様子】



3. 活動を通して寄せられた声

①地域の方々からの声

「芸能の担い手不足により芸能祭への参加が危ぶまれていたが、学生を受け入れることにより参加することができた」「学生の受入れを通じて、芸能の『教え方のコツ』を集落内で共有することができた」等の声が寄せられたほか、今年度学生の受入れがなかった集落の方々より「次回は学生を受入れ、集落の芸能を教えたいので来年もぜひ参加してほしい」といった嬉しい声もお寄せいただいた。

②参加した学生からの声

「活動を通して佐渡に興味を持ったので、佐渡を知らない方々に魅力をもっと伝えていきたい。次回もぜひ参加したい」「初めて訪れる土地で初めて会う方々に鬼太鼓を教えていただくにあたって、受け身の姿勢では表面的な事しか学べなかったと思うが、積極的に質問し地域の方々との交流を図ることで鬼太鼓はもちろん集落の方々について詳しく知ることができた」等の声が寄せられた。

4. まとめ

本学の学生が地域を訪問し地域の方々と一緒に活動を行うことで、人手不足を補うだけでなく、地域住民との交流を通じた地域の賑わい創出を支援することができたと考えられる。次年度以降も学生を主体に伝統芸能体験や能合宿に参加し、地域の方々との学生の継続的な交流を推進していきたい。